**2025年度**

**「若手性機能研究者のためのJSSM Science Award」申請書**

**（※提出の際はPDFデータ化して送付）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究代表者氏　名 | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 連絡先・メールアドレス | 内線番号等　　　　　　　・　　　　　　　　　　　@　 |
| 年　齢 | 　2025.4.1時点　　満 　歳　 （ 西暦　　　 　 年 月生まれ） |
| 所属施設 |  |
| 講座・研究室・分野 |  |
| 職　名 |  |
| 研究課題名 | 　 |
| 推薦者 | 所属　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  | 役職・氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

**１　研究目的、研究方法など**

本欄には、本研究の目的と方法などについて、**４頁以内で記述**すること。

冒頭にその概要※を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(4)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、(5)本研究の目的を達成するための準備状況、について具体的かつ明確に記述すること。

**（概要）※10行程度で記述してください。**

**（本文）**

**足りなければコピーしてください**

**研究計画調書作成に当たって留意すること**

**○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○**

**留意事項①：**

1. *以下の内容を熟読・理解の上、研究計画調書を作成すること。*

　本助成は、性機能に関する基礎研究や、将来にわたって臨床に応用される可能性の高い研究を対象とすします。応募研究が国内で遂行できること、また応募研究が他からの助成金を受けていないものとする。また、薬剤を用いた介入臨床研究は対象外とします。

　　審査においては、提案課題の学術的意義に加え、独自性や創造性が重要な評価ポイントになります。このため、研究計画調書様式では、学術の潮流や新たな展開などどのような「学術的背景」の下でどのような「学術的『問い』」を設定したか、当該課題の「学術的独自性や創造性」、「着想に至った経緯」、「国内外の研究動向と本研究の位置付け」はどのようなものか、などの記述を求めています。

　　審査委員に学術的重要性等が適切に伝わるように研究計画調書を作成してください。

**留意事項②：**

1. *本文全体は１１ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。*
2. *各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。*
3. *指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。*

**○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○**

**2　研究スケジュール**

**3**　**人権の保護及び法令等の遵守への対応**

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、**１頁以内で記述**すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります**。倫理委員会等で承認を得ている場合は承認番号、申請中の場合は申請日を記載してください。(申請前に倫理申請等必要か講座内で確認してください)**

該当しない場合には、その旨記述すること。